

未成立パート

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

明治 大学 藤江 ゼミ A パート

1 1

部門番号

部門名

貿易論

テーマ TPP が及ぼす日本経済への影響

サブテーマ それぞれの産業が取るべき対策

趣意文

2017年1月にアメリカの脱退が決定した TPP だが、現在アメリカを除いた 11 か国は TPP 発行を目指している。

TPP が合意されると、貿易全品目のうち 95% の品目で関税が撤廃されるほか、労働人材の入出国規制の緩和、サービス業の自由化などが予想される。

そこで、TPP が日本の自動車産業や農業などの輸出入産業・労働環境・サービス業などに及ぼす影響を考え、今後それらの変化にどのように対応していくかについて議論したい。

分科会番号 9

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

明治大学

井上崇通ゼミ

C パート

24

部門番号

部門名

マーケティング

テーマ 日本飲料業界におけるデザインドリブン・イノベーションの可能性

サブテーマ サントリー「クラフトボス」のケーススタディ

趣意文

現代社会においてサービスや商品が溢れるようになった現在、競合他社との差別化が非常に困難になり、新規企業の既存市場への参入も非常に難しくなっている。それだけではなく、大手企業にとってもこれまで存続してきた市場のみで成長を続けることは難しい。そのためには、新たな価値を創出し、新規市場を開拓していくことが不可欠になっていると言えるだろう。

新たな価値を創出し、新規市場を創出するイノベーションとしてはいくつかの方法が確立されてきている。一つ目は「テクノロジープッシュ・イノベーション」、二つ目が「マーケットプル・イノベーション」である。そして近年、ミラノ工科大学のVerganti教授によって「デザインドリブン・イノベーション」という新たなイノベーション手法が提唱されてきている。「デザインドリブン・イノベーション」とは製品に新しい意味を与えることによって生じるイノベーションを指す。既存の製品・サービスに新たな価値を付与するので、新しい価値観を生み出す「意味的な革新」であり、技術のイノベーションを伴いながら、ユーザーにとってなぜ必要なのか、どのような意味合いがあるのかという問いかけをすることによって、その製品やサービスに「意味のイノベーション」を創発することである。つまり、デザイン・ドリブンを通じて新たな「解釈」や「価値」として提供し、製品・サービスのみならず社会における変革をももたらそうというものである。

「デザインドリブン・イノベーション」はこれまでゼミで学習してきたサービス・ドミナント・ロジックが根底にあると言える。そのため私たちのグループでは、最新のイノベーション創出方法である「デザインドリブン・イノベーション」を学習することとし、実際に最近発売されたサントリー「クラフトボス」をケーススタディの材料にして、日本飲料業界における「デザインドリブン・イノベーション」の可能性について考察することを目的に研究をしている。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

関東学院 大学 望月 ゼミ D パート

24

部門番号

部門名

マーケティング論

テーマ 携帯会社 3 社の広告比較から見える戦略

サブテーマ CM からの経済効果はあるのか！？

趣意文

最近の日本の広告業界は様々であり、興味深い。
伝え方も受け取る側の方法も多岐に渡り、特に CM 業界は時代とともに変化していく一番世間の目につく広告だと考える。
今回、私たちのグループでは現在の CM を同じ業界の 3 社を比較していき、CM が与える視聴者の経済活動に与える変化はどのくらいあるのか調査してみる。同じ業界の 3 社を調査することで視聴者がどこに注目し、何を決め手にその会社を選んでいるのか、世間の傾向が分かると思ったからだ。そのことが広告と関係があるのかを今回は討論していきたい。CM の内容とその会社のサービスとの関係性について、CM をシリーズ化することで得られるメリットがあるのか論じていきたいと思う。

分科会番号 11

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

高崎経済大学

関根ゼミ

C パート

24

部門番号

部門名

マーケティング論

テーマ コンビニ業界の経営戦略

サブテーマ なぜコンビニは発展したのか。

趣意文

現在飽和状態と言われているコンビニ業界だが、大手コンビニ 3 社はまだ成長を続けている。
そこで大手コンビニ 3 社を比較して、それぞれの戦略の違いとその将来性について考察する。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

大東文化大学 首藤禎史ゼミ 首藤禎史ゼミ A パート

24

部門番号

部門名 マーケティング論

テーマ 農業のマーケティング戦略について

サブテーマ なぜ企業が農業に参入するのか

趣意文

マーケティングの原点である農業は近年、そのマーケティングの姿を変えつつある。そのため私たちは農業のマーケティング戦略について研究する。

いつの時代も農業は個人の農家が行ってきたものだが近年では、農家ではなく企業が農業を行うようになってきている。それはどのような理由で参入しているのか、そしてどのようなメリットがあるのかなどを研究し、今後農業はどのように展開していくのかを考察する。

分科会番号 13

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

日本大学田村八十一ゼミ田村八十一パート

18

部門番号

部門名 財務会計論

テーマ 財務諸表からみる企業分析

サブテーマ 企業比較

趣意文

私のゼミナールでは、財務諸表を分析することで、企業がどのように成長したのかを読み取るのをメインに取り組んでいます。

具体的には、上場してる企業などの財務諸表を長期で分析し、また比較することで企業がどれほど成長の差があるのかなどを読み取るのを実践しています。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

高崎経済

大学 関根

ゼミ A パート

24

部門番号

部門名 マーケティング論

テーマ トヨタの経営戦略

サブテーマ 自動車業界の現状とトヨタの動向

趣意文

自動車業界の動向とトヨタの経営戦略について研究、分析し、業界シェアを獲得できた理由について考察していきます。

分科会番号 14

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

関東学院 大学 望月 ゼミ A パート

1

部門番号 部門名 日本経済論

テーマ 2020年東京オリンピック経済効果の波及

サブテーマ 過去のオリンピックの歴史と比較

趣意文

現在、日本では東京オリンピックに向けて様々な関心が向けられている。そこで2020年に東京オリンピックが開催することにより、経済が発展されることが予想されるが実際どのくらいの変化が出るのか疑問を持ったので今回のテーマになりました。2020年の経済効果を論じるにあたって、まず、過去のオリンピックの歴史から説明していく。そして、2020年東京オリンピックの経済効果がどれくらい見込まれているのか、開催地での問題点や、その改善点もまた説明していく。最後に2020年東京オリンピックのあり方、経済効果がどのように波及していくのかを論じる。東京という大都市にとって、どのような開発効果を持つのか、また、オリンピック開発都市の繁栄に貢献するのかという2つのことを述べていく。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

明治 大学 藤江昌嗣ゼミ 藤江ゼミナールD パート

21

部門番号

部門名

中小企業論

テーマ 中小企業による地方創生

サブテーマ 大企業ではなくなぜ中小企業なのか

趣意文

現在日本の企業の99%以上を中小企業が占めていると新聞やテレビでもよく耳にする。ゼミナール活動を通して、様々な規模や業種の中小企業を訪問し、地域に根差した姿を目の当たりにしてきた。そこで私たちのグループは中小企業によるさらなる地方創生の可能性を感じ、研究している。具体的には中小企業によって実際に地方活性のために行われている取り組み、どのようにして雇用を創出するか、大企業誘致や地域開発などの外からの振興との違いなどである。

分科会番号 15

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

白鷗大学 飛田幸宏ゼミ 飛田ゼミナールBパート

24

部門番号 _____ 部門名 マーケティング部門

テーマ サービスの現状と問題点

サブテーマ 過剰サービスの実態

趣意文

現在、日本ではサービス産業は経済において大きなウエイトを占め、発展の勢いはとどまることを知らない。しかし、日本の企業で顧客に対して過剰だと考えられるサービスが横行している。例えば郵便配達やレストラン、コンビニ業界の24時間営業などサービスの必要性が問われている。またそれに伴い、長時間労働や人手不足が社会問題になっている。こういった現状をふまえ、過剰サービスについて研究し、考察していく。

第1章 日本国内におけるサービスの現状

1. サービスとは
2. 国内企業の具体例

第2章 過剰サービスが生じる要因

1. 顧客の過剰要求
2. 他社との競争

第3章 サービスが社会に与える影響

第4章 国内企業の取り組み

第5章 今後の展望

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

文教 大学 坪井 ゼミ 坪井ゼミ C パート

25

部門番号

部門名

労務管理論

テーマ 現代の社会に求められる労働環境

サブテーマ なぜ、ブラック企業が生まれるのか

趣意文

今日、「労働環境」というのは様々である。働き方で言えば、インターネットを活用することで、わざわざ職場に行かずとも働くことができるようになったり、オンラインで会議をしたり、取引をしたりすることでその場にいなくとも仕事ができるようになった。また、企業福祉では、今までは女性だけが取得することができるというイメージのあった育児休暇も、最近では男性にも取得させるようになってきている。このように、現代の社会で企業が求められていることは「社員」に快適な労働環境を提供し、その中でいかに労働させるのかということではないかと思う。しかし、日本の現状はどうであろうか。

「ブラック企業」や「残業」などの悪いイメージの言葉ばかりが飛び交い、実際に過労で自殺してしまったという件も少なくない。アベノミクスの第二次成長戦略にも労働改革が組み込まれており、重要な改革として取り組まれてはいるが、それが日本の現状を打破できるほどの効果があるのかは疑わしいところである。

私たち坪井ゼミでは「経営組織論」「経営管理論」を中心とした経営学を研究している。その中で、こうした「労働環境」についてはよく学んでいる部分であるし、これから就職する私たちにとってとても身近なテーマである。これから論文を書いていくにあたり、さらに研究を進めて、考えを深めていきたいと思う。

分科会番号 17

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央 大学 御船洋 ゼミ 高齢化 パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ 超高齢社会における介護の現状と課題

サブテーマ 人手不足社会の中での打開策について

趣意文

現在の日本は平均寿命の伸びにより、超高齢社会を迎えている。現代社会に数多く存在する問題の中から、私達のグループは「介護が抱える問題」に強く興味を持ち、高齢者が過ごしやすい環境づくりのための問題の解決策を考えることを今回の研究のテーマとした。今回の研究では現代社会に存在する多くの介護問題の中から、3つに焦点を当てている。今回、取り上げるテーマは、①近年、増加傾向にある「老老介護」問題、「認認介護」問題、②介護予防政策の既存システムの見直し・新システムの考案、③定年退職後の生きがい・職業とは何か、の3つである。今後の活動計画としては、上記の3つのテーマの現状を把握・分析し、日本だけでなく、他国で実施されている介護制度の調査と、日本の介護制度との比較を加えながら、将来、高齢者が安心して過ごしやすい環境づくりのための打開策を議論したいと考えている。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

城西 大学 西川 由比子 ゼミ 西川ゼミパート

13

部門番号

部門名 社会保障論

テーマ 高齢者の QOL(生活の質)を考える

サブテーマ 高齢者の経済生活と高齢者の QOL をどのように考えるか？

趣意文

2014 年における日本の高齢化率（人口に占める 65 歳以上人口比率）は 26.0% に達している。高齢人口の居住形態の推移を見てみると、単独世帯が継続的増加、夫婦のみの世帯が継続的増加、親と未婚の子供のみの世帯が継続的増加しており、いずれも 2006 年～2015 年の間におよそ 1.5 倍に増加している。一方で三世帯世帯の数は年々減少している。すなわち、高齢者世帯を支援する家族との同居率は減少傾向にある。

高齢者支援といっても、高齢者のおかれている状況—経済状況、健康状態（介護などの必要度）、地域—によって異なっている。したがって、支援の在り方も高齢者の状況あるいは地域特性により異なっていると考えられる。こうした状況を考慮しながら、高齢者にとっての QOL の充実を図れるような政策、サービスの在り方を検討したい。高齢者の日常生活を支えるサービスおよび食生活に関する支援も合わせて考えることとする。

以上の問題点について以下の章構成で検証することとする。

はじめに

第 1 章 高齢社会の進行（世帯構造の変化）
世帯構造の変化と支援のシステム

第 2 章 高齢者の経済格差
高齢者の主な収入源および貯蓄の状況

第 3 章 高齢者の生活支援の現状と課題（食生活も含む）

第 4 章 高齢者の生活支援事例としての給食サービス

第 5 章 自治体における高齢者支援 政府政策と自治体における事例
青森、山形、埼玉の事例

分科会番号 18

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央大学

佐藤拓也ゼミ

年金パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ

年金制度について

サブテーマ

社会保障としての年金制度の問題点とは

趣意文

20歳を迎え年金を払う年になったが、大半の大学生は年金制度についての認知、理解が不足し、また知識が乏しいのが現状と言える。

我々はまず年金制度の仕組みについて調べ、年金だけで生活できるのか、即ち国民の最低賃金が年金によって果たして保障されているのか、年金積立金の行方などに問題意識を置いた。その上で社会保障の一部としての年金制度の在り方や役割、年金と国民・政府・社会の関係がどうなっているのかを研究したい。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

専修 大学 中野英夫 ゼミ 中野英夫ゼミ B パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ 今後の日本の年金制度のあり方について

サブテーマ 将来年金制度が保たれるためにはどうすべきか

趣意文

今回、我々がテーマとして挙げたのは今後の日本の年金制度のあり方についてである。いくつかある社会保障制度の中でも年金制度をテーマにした理由は、我々の中でも年金を納め始めている人もいる中で、将来的にはすべての人が被保険者や保険者となりとても身近にあるものであることから様々な観点から年金制度の問題点や、その解決策を考察することが有益であると考えからである。現状の年金制度のままで、この先も安定した年金制度を維持することが出来るのかということを研究テーマとして討論を進めていきたいと考えている。

討論の流れとしては、特に重要だと感じた問題に焦点を置き、それらの問題を分析した上で、今の年金制度が維持されるべきなのか、それとも改革を行うべきなのかについて議論していきたい。テーマとしては、①賦課方式を続けていくべきか②財源確保の問題③未納者増加の問題などがある。また、日本の年金制度は、公的保障部分を縮小して自助努力を中心に実施すべきであるという声を耳にする。この点についても、現在の年金制度と比較することが必要であり、その他問題についても理解を深めるため議論する必要があると考えている。また改革を行うべきであるという結論を下した場合、具体的にどのような改革をすべきであるかについても議論を深めたいと考えている。

分科会番号 23

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

神奈川 大学 玉井義浩 ゼミ D パート

14

部門番号 部門名 環境経済論

テーマ 世界の資源問題と地球温暖化問題

サブテーマ 省資源、低炭素社会の実現のための方策

趣意文

アメリカのトランプ大統領が COP21 のパリ協定からの離脱を表明したほか、地球温暖化問題についての無知と偏見を露呈し世界中を呆れさせているが、地球温暖化問題に代表される環境問題は喫緊の課題である。特に「食品ロス」のような資源の無駄遣いが横行している先進工業国の責任は重い。この全地球規模の問題の解決にあたっては、(1) 問題に対する科学的な知見、(2) これまで CO₂ を排出して経済成長を遂げた先進工業国の責任の明確化、(3) (2)を踏まえた上で、発展途上国の経済成長への権利と温暖化対策という相反する利害の調整に対する長期的なコミットメントとともに、(4) 食料も含めた 今後の資源の需給問題についての理解が不可欠である。本研究では(1)から(4)にわたり、問題の現状を把握した上で、CO₂ を排出しないエネルギー源としても注目を集めた原子力発電を温暖化対策の手段とするか否かも含め、温暖化問題の解決のための方策を論じる。特に、食品ロスの解決も含めた、省資源社会の実現と、温暖化対策のための経済学上の処方箋として挙げられてきた「排出権取引」と「環境税」にスポットを当て、省資源社会、低炭素社会の実現のための法的経済学的な対策を論じる。排出権取引や環境税については、それらの対策がなぜ、どのような場合に効果的であるのかを、理論および、これまでの導入事例についての実証研究から論じる。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央 大学 林光洋 ゼミ 環境 パート

14

部門番号

部門名 環境経済論

テーマ 一般廃棄物の分別について

サブテーマ 報酬と罰則のどちらが分別行動を促進するか

趣意文

現在、発展途上国では廃棄物の処理が問題となっている。特に東南アジアの国々では、一般廃棄物の分別が十分になされておらず、混合廃棄物を分類・焼却を正確かつクリーンに行う施設が整っていないため、廃棄物を埋め立てて処理している。そこで私たちのグループでは既存の処理技術で対応できるように、排出者に分別して廃棄させるにはどのようにしたらよいかについて研究している。

一般廃棄物とは家庭や商業施設から出るごみのことである。その分別には捨てる側の意識と行動が重要であるが、意識付けは甚だ容易ではない。そこで様々な地域で、ごみの分別における排出者の意識付けを目的とした活動が盛んに行われており、持ち込んだごみと穀物を交換する地域から分別をしない者に対して罰金を科す地域まで多種である。

ここでは住民の意識啓発を目指す活動について、報酬によるものと罰則によるもののメリット・デメリットを比較した場合、どちらが分別行動を促進するかを討論したい。

分科会番号 27

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

神奈川大学 大学 清水俊裕 ゼミ 清水俊裕 B パート

部門番号

1

部門名 日本経済論

テーマ 農業の再生

サブテーマ 日本農業の成長戦略

趣意文

日本農業は衰退の一途をたどっている。高齢化、後継者不足、耕作放棄地、輸入品との競争による自給率の低下などが問題となっている。

今までに様々な政策が打ち出されてきたがあまり効果は見られなかった。食料の安定供給、自然環境の保全、食糧安全保障などを基盤にした食糧農業農村基本計画は2000年を始めとし5年ごとに見直しがされている。このような農政が打ち出されているにもかかわらず、日本農業の現状は変えられずにいる。過去の農政などを読み解きつつ、日本農業が成長していくためには何が必要かを考えていく。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

法政 大学 藤澤利治 ゼミ 藤澤利治ゼミ A パート

2

部門番号

部門名 経済政策論

テーマ EU の貿易政策

サブテーマ 英の EU 離脱について～貿易を中心にして～

趣意文

現在、英 EU 離脱が世界で注目されている。そのため、私たちのグループでは英 EU 離脱が EU 内の貿易にどのような影響をもたらすか研究している。

具体的には、関税はどうなるのか、英国内に拠点を置いている企業はどうなっていくのか、英の貿易はどのように変化していくのか、などです。

分科会番号 28

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

法政 大学 藤澤利治 ゼミ 藤澤利治ゼミ B パート

2

部門番号

部門名

経済政策論

テーマ 地域経済統合の問題について

サブテーマ EU・NAFTA・ASEAN を比較して見る

趣意文

現在ギリシャ危機・英国の EU 離脱があったことや、米国のトランプ新政権の意向により地域経済統合のあり方などに注目が集まっている。いくつもある統合の中でも世界で見たときに経済的な影響の大きい EU と NAFTA と ASEAN の 3 つを例に挙げて、それぞれの内容を見つつ比較しながら今ある問題点に着目していく。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央 大学 佐藤拓也 ゼミ 経済政策 パート

2

部門番号 部門名 経済政策論

テーマ 経済政策について

サブテーマ 外国の経済政策との関係、日本への影響

趣意文

先日アメリカでは大統領選挙が行われ、トランプ氏が当選したが、言動や政策が問題視されている。トランプ政権によるアメリカの TPP 離脱など、外国の経済政策が日本に与える影響は大きい。そこで、例に挙げた TPP など日本や外国の経済政策、主に通商政策に触れながら日本や外国の政策の歴史的背景、相互的な影響などにアプローチをかける。また、それぞれの政策におけるメリット、デメリットを日本や外国の視点から討論する。

分科会番号 31

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

神奈川 大学 玉井義浩 ゼミ Cパート

1

部門番号

部門名

日本経済論

テーマ 過労死と格差問題の相互作用

サブテーマ 「働き方改革」は問題の解決につながるか？

趣意文

「電通過労死事件」に象徴されるように、過重労働、過労死問題が注目を集めている。しかし、過労死は近年始まった問題ではなく、脳・心臓疾患の労災補償件数は近年減少傾向にあるものの、2000年代には一貫して増え続けていたほか、精神疾患の労災補償件数には減少の兆しが見られない。その中で、「日本海庄や事件」のような訴訟も起きている。これらの問題や一向に改善しないワークライフバランス(WLB)の状況改善のため、政府の「働き方改革実現会議」は2017年3月28日に「働き方改革実行計画」を発表したが、問題の実態や背景にある構造的要因を正確に把握することなくして、真の問題解決には至らない。

過酷な労働が放置されてきた中、非正規雇用の拡大やワーキングプア問題など所得格差も深刻化した。さらに90年代末の金融危機以降、勤労者の実質賃金は減少の一途をたどり、近年は「アベノミクス」による物価上昇に名目賃金の上昇が及んでいない。

過労死問題と格差の拡大とは相互に関連しており、長く続いた不況の中で賃金が下がり続け失業した場合の再就職が困難な中で、労働者が劣悪な労働環境に耐えて働くしかないという状態が長く続いた結果、企業側はそのような労働に甘えるということが常態化してしまったと考えられる。我々の研究では、格差と過労死の実態と両者の関連を計量経済学の分析手法を用いて明らかにし、問題解決のための政策提言を行う。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央 大学 佐藤拓也 ゼミ 格差 パート

1

部門番号

部門名

日本経済論

テーマ 現代日本の所得格差

サブテーマ 日本の格差是正の政策

趣意文

現在、日本で広がる所得格差について研究している。この現象は、少子高齢化や非正規雇用などの大きな社会の動きと連動して起こっていると考えられる。これらの動きはどのように影響を及ぼしているのか、何が原因なのかについて調べている。

原因が明確になったら、この問題を解決するためにどのような政策(あるいは解決策)が適切であるのか、またそれはどのような効果をもたらすのか、一つ一つ吟味していく。

理論的な観点のみならず、それどう我々の生活に影響を及ぼすのかというように具体的な側面からもアプローチをしていきたい。